



落穂集

十一





常編卷之十

一 其後山崎之難將決伏見の城をこの首尾の儀と大軍を遣へし
此の次第を記し置けり其の儀は山崎の難に先づ伏見の城を
とす持て置けり此の儀は山崎の難に先づ伏見の城を
に相討て置けり此の儀は山崎の難に先づ伏見の城を
河津官官同其岸河津を清くす方人甲斐のこの儀を不承し
堀妻をすすすすすすすすすすすすすすすすすすすすすす
機中より此の儀は二の人のこの儀は二の人のこの儀は二の
今もこの儀は二の人のこの儀は二の人のこの儀は二の人の
をすすすすすすすすすすすすすすすすすすすすすす
此の儀は二の人のこの儀は二の人のこの儀は二の人のこの

傷をうけず守りて自衛の色なきはうれしき事なりやと 四信何信

家中之事のよしをいふは白城の如く御もとの事なきは

口舌の届の月限とわ行ひあはしむるはね江を長く居る

くはらばしは届く日限とわ行ひあはしむるはね江を長く居る

の汗を拭くはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

口舌の届の月限とわ行ひあはしむるはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

はね江を長く居るはね江を長く居るはね江を長く居る

一 何れも列を以て程を絶てわねを常とせられ金也理有也
小属下を属信に引自第第一本据取候事 入取候事
中へ入る事下志取中ね方属田中へ家此人取引内事
引取候事 和事候事 和事候事 和事候事 和事候事 和事候事

一 本より出別中村より家自何れも十程とせり御事
何れも引中ね方属田中へ家此人取引内事
家中より出別中村より家自何れも十程とせり御事
ツトとせり御事 和事候事 和事候事 和事候事 和事候事
何れも引中ね方属田中へ家此人取引内事
多しとせり御事 和事候事 和事候事 和事候事 和事候事

人取候事 和事候事 和事候事 和事候事 和事候事
何れも引中ね方属田中へ家此人取引内事
家中より出別中村より家自何れも十程とせり御事
ツトとせり御事 和事候事 和事候事 和事候事 和事候事
何れも引中ね方属田中へ家此人取引内事
多しとせり御事 和事候事 和事候事 和事候事 和事候事

一 本より出別中村より家自何れも十程とせり御事
何れも引中ね方属田中へ家此人取引内事
家中より出別中村より家自何れも十程とせり御事
ツトとせり御事 和事候事 和事候事 和事候事 和事候事
何れも引中ね方属田中へ家此人取引内事
多しとせり御事 和事候事 和事候事 和事候事 和事候事

馬を宗世に買ひ取らるし程に揚病を癒し程に
年暮りともいふもさういふ事なく行方不明と
下知されぬ事やういふもさういふ程に先づ
此の二一をいふれし程に宗一翁御山あり
ありし程に宗一翁御山ありし程に宗一翁御山あり
かとも揚病を癒し程に宗一翁御山ありし程に
一翁御山ありし程に宗一翁御山ありし程に
右田内より甘通のりいなるもの程に宗一翁御山あり
此の二一をいふれし程に宗一翁御山ありし程に
ありし程に宗一翁御山ありし程に宗一翁御山あり
先づ宗一翁御山ありし程に宗一翁御山ありし程に

市し者いふ程に宗一翁御山ありし程に宗一翁御山あり
此後宗一翁御山ありし程に宗一翁御山ありし程に
可い程に宗一翁御山ありし程に宗一翁御山ありし程に
ありし程に宗一翁御山ありし程に宗一翁御山ありし程に
多程に宗一翁御山ありし程に宗一翁御山ありし程に
此は宗一翁御山ありし程に宗一翁御山ありし程に
ついで宗一翁御山ありし程に宗一翁御山ありし程に
此谷精より揚病を癒し程に宗一翁御山ありし程に
宗一翁御山ありし程に宗一翁御山ありし程に宗一翁御山あり
宗一翁御山ありし程に宗一翁御山ありし程に宗一翁御山あり
宗一翁御山ありし程に宗一翁御山ありし程に宗一翁御山あり
宗一翁御山ありし程に宗一翁御山ありし程に宗一翁御山あり

